

News Letter



Topic 1

金融と福祉の連携、多機関連携型見守りモデルがスタート（D-3）

研究開発テーマD-3 「高齢者が生涯にわたって自立的に経済活動ができる包摂的な社会経済システム構築」（研究開発責任者：慶應義塾大学 教授 駒村 康平）

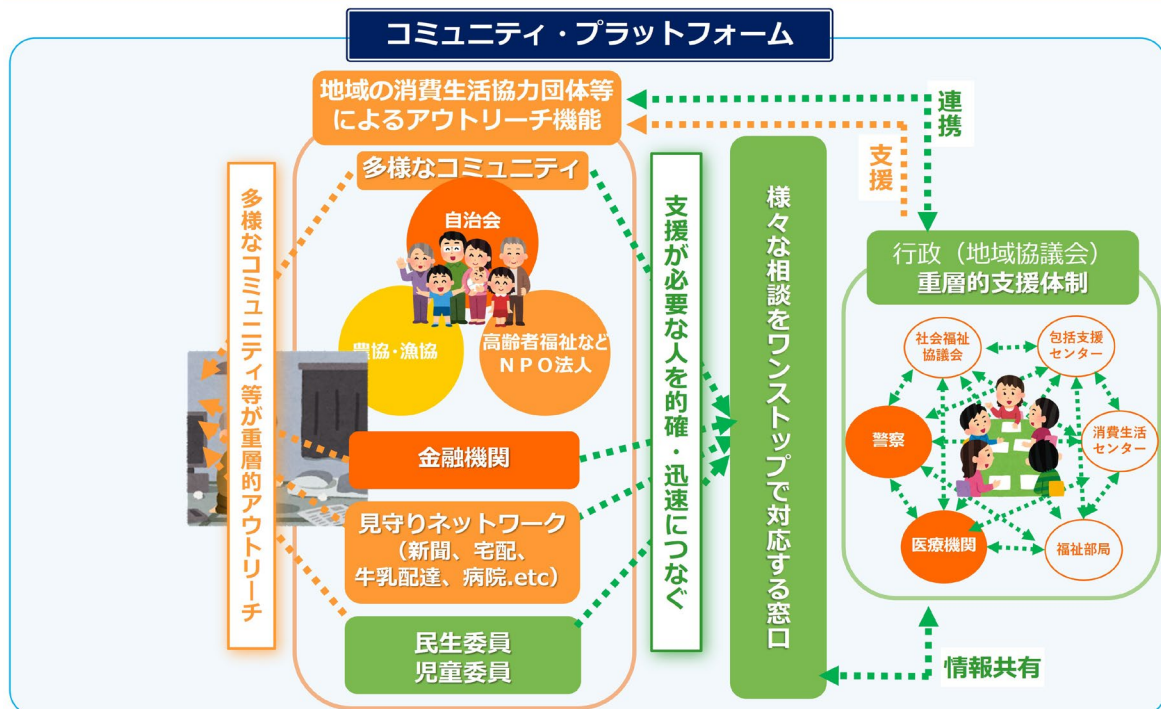
研究開発テーマ（D-3）では、認知機能が低下しても、判断ミスや消費者被害、詐欺に巻き込まれず、高齢者が自分の資産を自分や自分の家族のために自律して使えるような「資産管理・運用や消費活動の見守り」（経済活動）を可能にするための研究開発を進めています。

D-3は、1）金融機関と福祉機関、行政が連携し、高齢者の経済活動を見守り地域作り、すなわち金融と福祉の連携モデルを地域で確立し、全国に広めること、2）AIを使った高齢者の資産管理を手助けするツール開発を行っています。

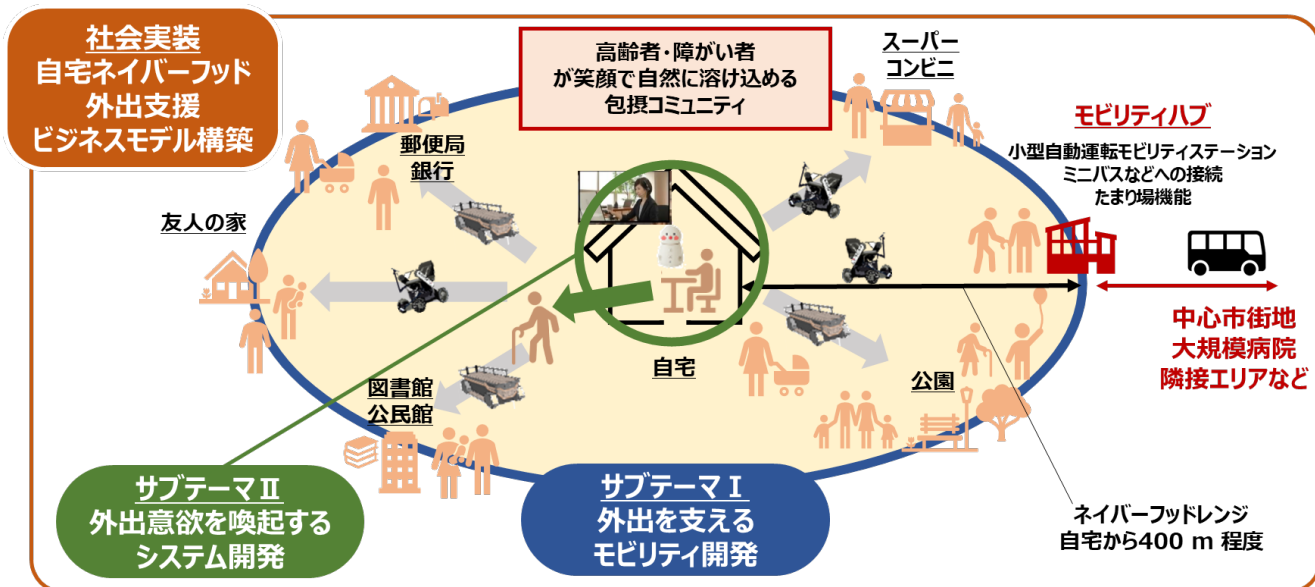
1）については、分担研究開発機関の京都府立医科大学は、自治体×金融機関等の包括的な連携を進め、「見守りネットワーク」の構築に取り組んでいます。自治体による地域協議会の設立を促し、自治会を中心に金融機関等からのスムーズな情報提供に加え、警察との連携強化など、アウトリーチの効率化を図ることで自治体の負担抑制につなげます。すでに2024年5月より京都府京丹後市と連携を進めています。同市は、京都府の日本海側に位置し、人口約5万人、高齢化率は約37%、人口密度は府内で2番目に小さい過疎化が進む自治体です。市には、住民からの相談にワンストップで対応する「寄り添い支援総合サポートセンター」が設置され、重層的支援体制整備事業の導入を検討するなど包摂的な街づくりを進めており、協働パートナーとして相応しい自治体です。住民の実態把握を目的に、75歳以上の単身世帯を対象にヒアリングを行うことにより、サービスを受ける側の困りごとや要望等を把握し、住民を中心に置いたネットワークを目指しています。市担当部署とは週1回のペースでミーティングを行うなど、金融機関を含めた座組みの検討や、ヒアリング・シートの作成に着手しています。

今後は、市と正式に協定を締結することで、効果的・効率的なモデル構築を加速させます。また、今秋を目標に、府内の都市部自治体を一か所モデル先として追加選定し、京丹後市と同様に連携・協力の提案を進めて参ります。

わたしたちが目指す「新たな見守りネットワーク」事業モデル



移動に不安を感じ始めた高齢者や障がい者の皆さんが、自宅に籠ってしまうことなく、もっと自由に外出を楽しみ、地域や人とつながって、いきいきと笑顔で暮らすことをサポートする。それが、研究開発テーマD-2が開発を進める「自宅ネイバーフッド外出支援サービス」です。



自宅ネイバーフッド外出支援サービスのイメージ

まず、「声掛けロボット」が毎日の声掛けで生活基盤を整えつつ、絶妙なタイミングで地域のイベント情報や友達からのお誘いをお知らせして外出へ誘います。外出の気持ちが高まったら小型の自動運転モビリティを予約。おしゃれをして待っていたら、自宅の前まで予約をしたモビリティが迎えに来てくれます。一人で簡単に乗れるモビリティなので、ご家族や介助者に遠慮することなく、気軽に外出を楽しむことができます。「でも、トイレが不安で…」という方も大丈夫。先進の排尿予測センサーがしっかりと適切なトイレタイミングを教えてくれるので安心です。

R5年度に実施した大規模調査では、移動に不安を感じ始めた高齢者とそのご家族、自治体、地域包括支援センター、介護福祉団体などの皆さんから、本サービスの実現に期待する声をいただきました。

社会実装までの道のりは、制度面での課題を含めてまだ遠い状況です。だからこそSIPで加速的に取り組む必要があると考えています。一步ずつ、できることを積み重ねていながら、皆さんのお役に立てるサービスに近づけていけたらと思います。応援をどうぞよろしくお願いいたします！

ニュースレターバックナンバー、シンポジウム動画等、掲載中！

- ニュースレターバックナンバー
<https://www.nibiohn.go.jp/sip3-housetsu/library/library.html>
- SIP/BRIDGE Webサイト（内閣府）
<https://www.sip.go.jp/sip/04.html>
- SIP「包摂的コミュニティプラットフォームの構築」シンポジウム2023
<https://www.youtube.com/watch?v=YJKPwQdefbo>



各テーマのイベント予定、お知らせは、下記Webページでも公開していきますので、ご確認ください！

国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所

〒567-0085
大阪府茨木市彩都あさぎ7-6-8
TEL: 072-641-9870 FAX: 072-641-9831
Mail: sip3-housetsu@nibiohn.go.jp

〒100-0013
東京都千代田区霞が関3-4-2 商工会館7階
TEL: 03-6273-3511 FAX: 03-6273-3512



<https://www.nibiohn.go.jp/sip3-housetsu/>

